

健診データ標準化と
健診標準フォーマットの普及に関する
平成28年度の進め方について

平成28年6月2日

日 医 総 研

確認事項：健診標準フォーマットについて①

1. 健診データを取り扱う際の問題点

- 1) 健診機関における健診の検査運用仕様が統一がされていない。
- 2) 健診データを取り扱う健診システムのデータベースの管理項目仕様が不統一であり、健診データを電子媒体で伝送するたびに健診データの精度が悪くなっている。
- 3) 健診データは検査の運用情報までは相手に伝えられない（相互運用性が低い）。

2. 健診標準フォーマットとは

- 1) 健診機関における健診・検査等の運用の標準化を目指している。
- 2) 健診・検査等の運用の標準化とは検査等についてどのように運用をしているかを明示にすることであり、検査法などの統一ではない。
- 3) 健診標準フォーマットは「健診データ管理項目」と「由来情報」で構成される。

3. 健診標準フォーマットを普及させるための変換ツールとは

- 1) 変換ツールは日医総研から提供され、健診結果データを健診標準フォーマットに変換するツールである。
- 2) 変換ツールに組み込まれる変換対応表は日医総研が組み込む。
- 3) 変換ツールの保守費用については健診機関の大きな負担にならないように検討する。

確認事項：健診標準フォーマットについて②

4. 「健診データ管理項目」に基づく伝送ファイル形式
- 健診標準管理項目は健診として発生しうる項目を網羅し、協議会により追加変更が行われる。（なお、ストレスチェックアンケート、実証実験用検査項目等は対象外とする。）
 - ファイル形式は「履歴1回につき1レコード」のCSV形式とする。
 - 各項目は文字型（「英数字（半角）」あるいは「テキスト（全角）」）で格納する。（コード表は別途提供するが、各項目は「コード」では流通させない。）
 - 文字コードは「シフトJIS」とする。
 - テキストは日本語（英語版はH29年度対応予定）を標準とする。
 - 画像所見等は協議会内にWGを設け、H28年度内に結論を出す。
 - 健診標準管理項目は「標準健診」、「特殊健診」、「学童健診」、「母子健診」等を予定する。（特殊健診、学童健診、母子健診はH29年度末追加予定。）
 - 仮標準は Ver1.160401 とする。

平成27年度標準化作業結果

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共同利用施設 の進め方		▼6/8第1期運用開始	▼7/17	▼8/22全国医師会共同利用施設総会（大阪） 施設長・管理者連絡協議会 ▼データ提供依頼			▼15施設変換開始			▼分析DB構築（E）	
協議会 関連の イベント		▼5/18協議会WG 第1回（A,C作業）	▼5/25 JAHISへ説明			▼AMED・PJ協力（B）		▼12/24第2回WG		▼2/3総会準備会	▼所見検討開始（D）
共同利用 施設関連	第1期：対象施設数は共同利用施設15施設へのツール導入										
健診 関連 団体	大型健診機関へのツール導入検討										
	研究項目 【A. 項目追加】 ・妊婦、乳幼児、児童生徒、人間ドック追加 等 【B. 国際標準への対応】 ・健診フォーマットの作成 ・変換ツールへの実装 【C. 健診関連団体仕様の策定】 ・検査や判定仕様の詳細調査と比較 ・健診実施機関のデータ管理項目調査と比較 【D. 所見等テキストデータのコード化】 ・所見等テキストデータの調査と類義語作成 【E. データベース構築】 ・共同利用施設を想定した分析用DB構築					実施項目 1. 共同利用施設への対応 ・第1期対象施設に対する仕様の完了 2. 共同利用施設→健診関連団体への対応 ・データ変換ツールの設定 ・分析用DB構築 3. 協議会総意に向けて ・年度内に協議会の共同宣言採択に向け検討 4. 次年度事業補助に向けて ・関係省庁とビジネスモデル検討					
他 その	▼7月 協議会ホームページ公開										

平成28年度標準化作業のスケジュール（案）

	4-5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2-3月
年度計画	<p style="text-align: center;">△6/2 協議会WG→6月中に共同宣言</p> <p>▼テストデータの収集・分析（150万件） → 健診管理項目見直し</p> <p>▼所見コード収集・分析 → コード表原案完成</p> <p style="text-align: center;">△所見コードWG立ち上げ（1回目は共同宣言当日、全3回）</p> <p style="text-align: center;">△健診データ品質保証GL検討WG立ち上げ（→由来情報の検討、健診DB構築仕様作成）</p> <p style="text-align: center;">△変換ツール利用施設の拡大（全健診施設）</p>									
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>作業項目</p> <p><u>標準化ツールの維持運用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準化事業1次参加施設に対する変換ツールの維持運用。 ・標準化事業2次参加施設に対する変換ツールの運用開始。 → 1,000施設を目標 ・維持運用のためのビジネスモデル（インセンティブ）作成。 → （H29年度概算要求要望） <p><u>システム開発・変換ツール運用業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診データの標準化を目的とする法人設立等の検討 <p><u>画像所見コードの標準化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準所見コード集（案）をWGで作成、協議会で承認。 <p><u>健診管理項目の拡張</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理項目の拡張。（特殊、妊婦、乳幼児、学童を追加） → 日医総研の研究対象 <p><u>ISO・HL7対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準ツールの国際標準への対応（ISO13606との連携） ・標準ツールの日本標準への対応（JAHIS・HL7との連携） → 日医総研の研究対象 <p><u>健診データベース構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・由来情報整備後、健診標準データベース構築仕様の検討。 → 日医総研の研究対象 </div>									

1 平成28年度の進め方(案)

1) 健診データの標準化について

- ・健診データ管理のための品質保証ガイドラインの検討
 - ✓ 管理項目・由来情報の標準化
 - ✓ 所見等の標準コード集の作成

2) 健診データの相互利用に向けた基盤整備について

- ・個人情報保護(同意)に関する検討
- ・データ利活用のための規約等の検討

3) 健診標準フォーマットの普及

- ・健診標準フォーマットの健診施設への変換ツール提供
- ・健診データ標準化のインセンティブに関する検討

4) 健診標準フォーマット普及のための体制整備

- ・システム開発及び変換ツール運用業務のための法人設立等に関する検討